

ふくたんアートニュース 2010年 真夏号

No.30
2010年 8月10日
富山福祉短期大学 幼児教育学科
(Tel 0766-55-5567)

【制作・編集】
幼児教育学科
霧本 千種、村田 透
E-mail: tmurata@te.urayama.ac.jp

『ぼんやり写真をもとに<わたし>のアートをつくりだそう』アート福祉講座(市民講座)



『ぼんやり写真をもとに
<わたし>のアートをつくりだそう』
『ふしぎな紙から、<わたし>の形 を見つけよう』
を行ないました

日 時：平成 22年 8月 7日(土) 10:00 ~ 11:30

場 所：富山福祉短期大学 造形室

講 師：霧本 千種(富山福祉短期大学 幼児教育学科)

参加者数：施設教職員や親子の方々 8名

この活動は、富山福祉短期大学が主催した市民講座で、「生活を豊かにするアート」「それぞれのよさ・可能性・コミュニケーションをはぐくむアート」を講座の趣旨として開催したものです。



今年度の第二回目講座は、施設教職員や親子など8名が参加して、二つの活動に取り組みました。活動の一つ目は、絵具チューブから直接絵具を厚紙に出して、別の紙に転写する「デカルコマニー」という技法です。参加者の皆さんは、繰り返し転写したり、厚紙に別の絵具を加えて新たに写したりしました。数色の絵具だけで様々に展開する彩りの世界に、小さな紙の枠を当てると別の世界が見えてきます。見えた部分を切り抜いたり、台紙に貼り付けたりして、「アイスクリーム」を表現した子どももいました。

活動の二つ目は、焦点がぼんやりした写真を小さな紙枠から覗き、自分のお気に入りの部分を見つけ、色鉛筆で拡大して表現する内容です。参加者の皆さんは、彩色しながら拡大しつつ、自分の感じにあった色や線、形などを加えていきました。だんだん自分らしさが色と形になり、もとの写真とは全く異なった画面を夢中になってつくりだした方もいました。

参加者の皆さんは、今回二つの活動を体験しながら、新しいものの見方に驚いたり、先が見えないワクワク感を楽しめたようでした。

【次回のご案内】8月22日(日) 15:00~16:30

『「洋なしの量感画」(オイルパステルで描く)~臨床美術~』

